

# 文芸翻訳教室

越前敏弥 (著)

4月18日  
配本予定

『ダ・ヴィンチ・コード』などの

ベストセラー翻訳者が教える文芸翻訳の基本と実践

A5判 並製 220頁 予価(本体2,000円+税)  
ISBN978-4-327-45283-4 C1082

「原文をしっかり読む」「日本語の表現力を増やす」「調べ物をきっちりする」といった基本から、「表記のルール」「各登場人物にふさわしい日本語」「物語の視点」を頭に置いた実践的な訳し方まで、第一線で活躍する文芸翻訳家が秘伝をあますことなく伝授。加えて、シノプシス(出版社が翻訳書として刊行できるかどうかを判断する資料)の書き方や企画の持ち込み方もアドバイス。すべての翻訳家、翻訳家志願者必読の1冊。

■ 目次 ■

表記のルール

辞書や調べ物について

第1部 文芸翻訳のツボ

- 1 誤訳を減らすには
- 2 日本語を鍛えよう
- 3 日本語の現状を知ろう
- 4 視点を忘れるな
- 5 流れを大切に
- 6 作者の意図に忠実に
- 7 調べ物で手を抜くな
- 8 「めりはり」とバランス
- 9 どんな訳文をめざすべきか
- 10 名訳に学ぼう

〈コラム1 伊藤和夫先生から学んだこと〉

第2部 文芸翻訳の実践

- 1 表記のルールを守ろう
- 2 どんな順序で伝えるか
- 3 登場人物にふさわしい日本語
- 4 深く読みこんで、必要なだけ噛み砕く
- 5 センテンスの切れ目を大切に
- 6 視点と主観・客観
- 7 おもしろさや味わいを伝えるために
- 8 どこまで説明するか

〈コラム2 どんな本を読むべきか〉

■ 著者紹介 / 著者による他の著作等

越前敏弥(えちぜん としや)

文芸翻訳家。東京大学文学部国文科卒。訳書にダン・ブラウン『ダ・ヴィンチ・コード』『天使と悪魔』『インフェルノ』、エラリー・クイーン『Xの悲劇』、ステイーヴ・ハミルトン『ニック・メイソンの第二の人生』(以上KADOKAWA)、マイケル・ロボサム『生か、死か』、ステイーヴ・ハミルトン『解錠師』、エラリー・クイーン『災厄の町』(以上早川書房)、マイケル・コックス『夜の真義を』(文藝春秋)、ジェフリー・ディーヴァー『死の教訓』など多数。著書に『翻訳百景』(KADOKAWA)『越前敏弥の日本人なら必ず誤訳する英文』(ディスカヴァー)など。朝日カルチャーセンター新宿教室、横浜教室、中之島教室で翻訳講座を担当。最近の翻訳書に、ダン・ブラウン『オリジン』(KADOKAWA)、ジェイムズ・キャントン『世界文学大図鑑』(三省堂)、ステイーヴン・ローリー『おやすみ、リリー』(ハーバーコリンズ・ジャパン)など。公式ブログ『翻訳百景』

<http://techizen.cocolog-nifty.com/>

第3部 文芸翻訳の現場

- 1 リーディングとは
- 2 シノプシスを書いてみよう(1)
- 3 シノプシスを書いてみよう(2)
- 4 企画持ちこみについて
- 5 あとがきについて
- 6 文芸翻訳者の心構え

おわりに

ほかの著書について

新刊  
申込書

文芸翻訳教室

予価(本体2,000円+税)

ISBN978-4-327-45283-4 C1082

申込数

書店名(印)

冊

お名前

ご住所 〒

TEL

\*表示の価格は本体価格です。別途消費税がかかります。18.01